

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語 1
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	常用漢字クリア、国語便覧、現代文学名作選					
担当教員	豊田 尚子					
到達目標						
1. 基礎的な漢字の読み書きができ、語彙能力を高める。 2. 論理的な文章を読み、情報収集の基本を認識する。 3. 文法の基礎を学び、日本語の運用に役立てる。 4. 文学史の基礎的用語を覚える						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	基礎的な語彙能力を身につけ、運用できる。		基礎的な語彙能力を身につけることができる。		基礎的な語彙能力が足りない。	
評価項目2	文章のジャンルの違いを理解し、情報収集の基本として、適切に引用・運用できる。		文章のジャンルの違いがあることを認識し、指示通りに引用できる。		文章のジャンルの区別がつけられず、正しく引用できない。	
評価項目3	文法用語を用いて、品詞の分類を体系化して説明できる。		文法用語を用いて、品詞を分類できる。		文法用語を覚えられず、品詞も分類できない。	
評価項目4	文学史の基礎的用語を覚え、背景と結び付けられる。		文学史の基礎的な用語を覚える。		文学史の基礎的な用語を覚えられない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 (A1)						
教育方法等						
概要	低学年では、特に漢字学習などの基礎学力の向上を重視する。手書きの文字については、義務教育のレベルではなく、将来対外的に一般常識として求められるものを念頭に入れて学習する。それと同時に豊かな教養人となるべく、文化的知見を蓄積することを目標とする。					
授業の進め方・方法	1.毎回の授業時に、プリント形式で漢字学習をする。これはテストではなく、提出物・課題扱いとなる。 2.漢字学習の方法については、ガイダンスで説明するので、目的と取り組み方を理解すること。 3.漢字学習は、予習より、授業中の態度・復習に重点をおく。 4.講義は、ノートを取るのとは当然のことであるので、ノート提出による加点はない。 5.指示された課題は、目的を理解し、丁寧に取り組んで提出すること。					
注意点	1.提出物などの受け渡しは、教員室前のボックスを利用すること。遅れた場合は、提出日時を記入して速やかに提出すること。基本的には、17時で日付が変わることとする。 2.5月に実施される漢字検定模擬試験、提出物の有無、内容評価、確認テスト等の総合評価がポートフォリオとして算出される。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス①		テキストの確認、授業の進め方、諸注意を知る。	
		2週	ガイダンス②		漢字テキストの使い方、漢字学習の方法を知る。	
		3週	漢字No.1 原稿用紙の使い方①		漢字を学習する。 原稿用紙の使い方を学ぶ。	
		4週	漢字No.2 原稿用紙の使い方②		漢字を学習する。 原稿用紙の使い方を学ぶ。	
		5週	漢字No.3 引用のルールと方法①		漢字を学習する。 引用の基礎を学ぶ	
		6週	漢字No.4 確認テストの解答と解説		漢字を学習する。	
		7週	前期中間試験		設問に正しく解答する。	
		8週	試験の解答と解説		試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。	
	2ndQ	9週	文章のジャンルと種類		文章のジャンルと種類を知る	
		10週	漢字学習No.5 引用のルールと方法②		漢字を学習する。 引用の基礎を学ぶ	
		11週	漢字学習No.6 引用のルールと方法③		漢字を学習する。 引用の基礎を学ぶ	
		12週	漢字学習No.7 引用のルールと方法④		漢字を学習する。 引用の基礎を学ぶ	
		13週	漢字学習No.8 引用のルールと方法⑤		漢字を学習する。 引用の基礎を学ぶ	
		14週	引用のルールと方法⑥		引用の課題に取り組む	
		15週	前期期末試験		設問に正しく解答する。	
		16週	試験の解答と解説		試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。	
後期	3rdQ	1週	後期のガイダンス		前期の反省と後期の授業の取り組み方を知る。	
		2週	漢字学習No.9 文法1		漢字を学習する。 文法の知識の必要性を知る。	
		3週	漢字学習No.10 文法2		漢字を学習する。 文法の基礎用語を学ぶ。	

		4週	漢字学習No.11 文法3	漢字を学習する。 文の成分を学ぶ。
		5週	漢字学習No.12 文法4	漢字を学習する。 文法の基礎用語を用いて品詞を学ぶ。
		6週	文法5	練習問題に取り組む。
		7週	後期中間試験	設問に正しく解答する。
		8週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
	4thQ	9週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。
		10週	漢字学習 常識問題	国語常識として語彙能力を高める。
		11週	漢字学習 常識問題	国語常識として語彙能力を高める。
		12週	漢字学習 常識問題	国語常識として語彙能力を高める。
		13週	漢字学習 文法6	文法の練習問題を解く。
		14週	文法7 識別問題	文法の識別問題を解く。
		15週	後期期末試験	設問に正しく解答する。
		16週	試験の解答と解説	試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	1	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	1	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	複数の情報を整理・構造化できる。	1

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0